

協会けんぽ青森支部からのお知らせ(令和5年9月)

協会けんぽ 2022(令和4)年度決算(見込み)のお知らせ

2022年度の決算(見込み)のポイント

2022年度の決算は収入が11兆3,093億円、支出が10兆8,774億円で、収支差は4,319億円となりました。

ポイントとして、収支差は前年度比で増加(+1,328億円)しましたが、この要因は、保険料収入の増加(+1,868億円)より保険給付費の増加(+2,502億円)が上回ったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う2020年度の高齢者の医療費の一時的な減少により、後期高齢者支援金に多額の精算(戻り分1,901億円)が生じたこと等によって支出の伸びが抑えられたことによるもので、一時的な特殊事情によるものです。

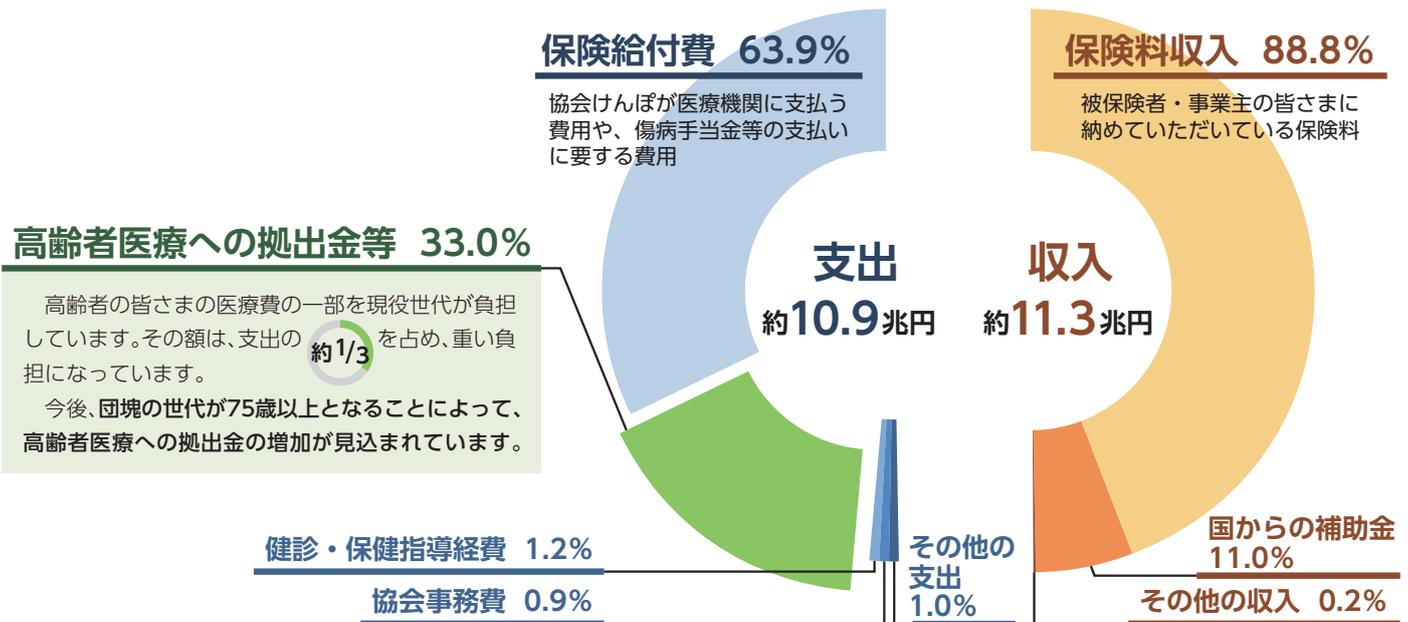
※詳しくは、協会けんぽホームページをご覧ください。

2022年度決算(見込み)【医療分】

収入 11兆3,093億円 (+1,813億円)
支出 10兆8,774億円 (+ 486億円)

収支差 4,319億円 (+1,328億円)
準備金 4兆7,414億円 (+4,319億円)

※()内は、対前年度比。



Q. 2022年度の決算は黒字額が増加しましたが、協会けんぽの財政は今後どのような見通しなのでしょうか？

A.協会けんぽの財政は、以下の理由から楽観を許さない状況です。

- ・収入面では、賃上げによる賃金の上昇が当面は見込まれるものの、被保険者数の伸びが鈍化していることや、不安定な海外情勢や物価高の影響等で経済の先行きが不透明であること等によって、これまでのような保険料収入の増加が今後続くとは期待し難いこと。
- ・支出面では、医療給付費がコロナ禍前の水準を上回って推移した2021年度(対前年度比+8.6%)をさらに上回り、2022年度は対前年度比+4.4%と高い伸びで推移していることや、今後も、後期高齢者支援金の増加が見込まれること。

こうした状況を踏まえ、協会は、将来を見据えて、加入者の健康増進の取り組みを中心とした医療費の適正化をさらに推進するとともに、安定した財政運営に努めてまいります。

事業主・加入者の皆さまへ

令和5年度 被扶養者資格再確認への ご協力をお願いいたします



協会けんぽでは、保険給付の適正化を目的に、健康保険法施行規則第50条に基づき、健康保険の被扶養者となっている方が、現在もその状況にあるかを確認させていただくため、毎年、被扶養者資格の再確認を実施しております。

今年度は、10月下旬から11月上旬にかけて「被扶養者状況リスト」をお送りいたしますので、被扶養者資格をご確認いただき、同封の返信用封筒にてご提出いただきますようお願いいたします。

被扶養者資格の再確認は、被扶養者の現状確認だけではなく、事業主や加入者の皆さまの保険料負担の軽減につながる大切な確認となりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和5年度の予定

確認の対象となる方

令和5年4月1日において18歳以上の被扶養者(協会管掌健康保険)
※令和5年4月1日時点で18歳未満の方、令和5年4月1日以降に被扶養者になられた方は、確認の対象外です。
※事業所さまに、確認の対象となる方がいない場合は、再確認の必要がありませんので、事業主さまへ被扶養者状況リストはお送りいたしません。

送付時期

令和5年10月下旬から11月上旬にかけて順次送付

提出期限

令和5年12月8日(金)

添付書類について

次に該当する場合、事実を証明する書類の提出をお願いいたします。
被保険者と別居している被扶養者→仕送りの事実と仕送り額が確認できる書類(学生の場合は不要)
海外に在住している被扶養者→海外特例要件に該当していることが確認できる書類

扶養から外れる被扶養者の方がいる場合

再確認の結果、被扶養者から外れる場合は、被扶養者状況リストに同封の被扶養者調書兼異動届と、該当する方の保険証を添付して、協会けんぽへご提出をお願いいたします。

再確認の流れ



《令和4年度の実績(全国ベース)》

扶養解除者数：約7.8万人

高齢者医療制度への負担軽減額(効果額)：約9億円

被扶養者資格再確認に関するお問い合わせ先：協会けんぽ青森支部 業務グループ 017-721-2714